国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和 6 年 10 月 28 日
九 州 地 方 整 備 局
延岡河川国道事務所

記　者　発　表　資　料

～流域の中学生が探求成果を発表します～

模擬流域治水協議会を実施します。

気候変動によってより激しく頻繁に発生するようになる水害や土砂災害を防ぐには、河川管理者だけによるこれまでの治水対策では不十分です。このため国土交通省では、流域内みんなで一緒になって治水に取り組む「流域治水」を推進しており、その広報活動に取り組んでいます。

これまでの取組として、流域治水の自分事化、理解促進、人材育成を目的に、宮崎大学と連携して流域の中学生への出前授業や、流域治水を学ぶ流域ツアーなどに取り組んできました。

この度、「模擬流域治水協議会」として下記の通り、五ヶ瀬川流域中学校（上・中流域）の生徒による「流域治水」関連の探求成果や、取り組み状況の【発表】や、発表者や聴講者を巻き込んでの【意見交換】を実施する予定です。

記

１．日　時　令和６年１１月１７日（日）１０時００分～１２時３０分
２．場　所　延岡市役所庁舎2階　講堂
３．参加予定者　・発表者：北方学園中学校、日之影中学校、高千穂中学校、五ヶ瀬中学校から、各校、代表生徒数名の参加を呼びかけています。
・聴講者：五ヶ瀬川流域の行政機関、教育機関に聴講を呼びかけています。
・宮崎大学　入江先生　他
４．取材について　取材を希望される方は当日受付までお越しください。

【問い合わせ先】
国土交通省　延岡河川国道事務所　技術副所長　下村（しもむら）　慎一郎（しんいちろう）
流域治水課長　成松（なりまつ）　政幸（まさゆき）
電話：0982-31-1155（代表）
0982-31-1191（流域治水課直通）

私たちにとっての

流域治水

流域には、上流から下流まで、さまざまな人が関わります。
住民、行政、企業、森林管理者、水産業者など、
さまざまな立場から、どのような視点で何を思っているのか、
一緒に考えてみませんか？

11/17（日） 10:00–12:30

場 所

延岡市役所庁舎２階　講堂

対 象

- 五ヶ瀬川流域の中学校1~3年生
  （五ヶ瀬中学校・高千穂中学校
  ・日之影中学校・北方学園）
- 流域治水に関わっている方
- 流域治水に関心のある方

スケジュール

09:30　会場受付
10:00　開会
10:10　①みんなの流域治水のためのアイデア発表
11:00　②ロールプレイ
　　～“流域住民のひとり”になりきって考えてみよう～
12:30　閉会

中学生がこれまで調べきた
流域治水について発表します

※ロールプレイって？
　上流から下流にかけて流域に関わるさまざまな立場（行政や教育関係者、医療従事者、農家、企業、子育て世代など）の人たちは、何を思い、何を考えるでしょうか。ロールプレイは、その役割（立場になる）を演じながら参加者同士が対話し、そこからヒントを得るワークショップです。

お問い合わせはこちら

主催　五ヶ瀬川水系流域治水協議会
事務局：国土交通省九州地方整備局　延岡河川国道事務所
担当者：成松政幸
TEL：0982-31-1191　FAX：0982-33-6907
mail：narimatsu-m8910@mlit.go.jp

協力　宮崎大学
　　九州大学
　　NPO法人五ヶ瀬川流域ネットワーク
　　流域ぷらっとフォーム

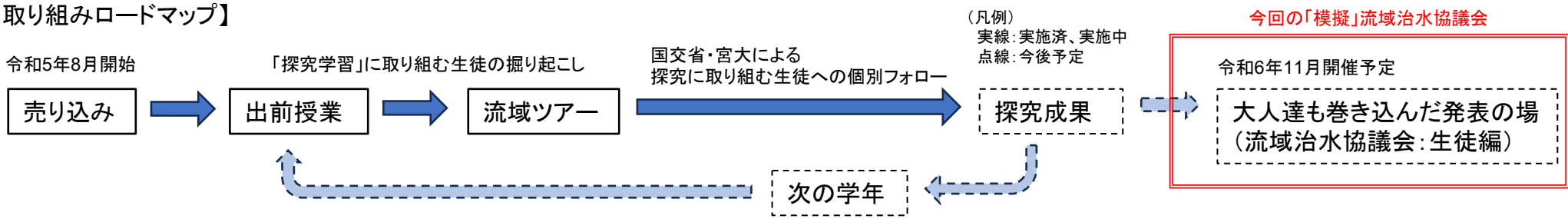
流域治水の理解を深めていただくための取組

国土交通省

（流域治水の自分事化に向けた「学」との連携）

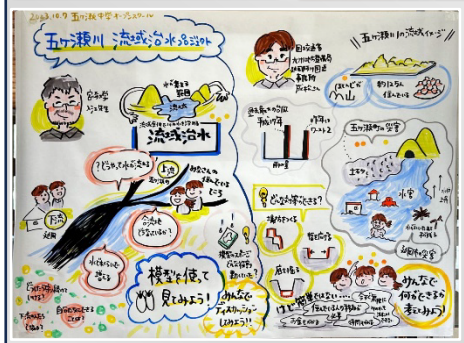
○ 五ヶ瀬川流域では、流域治水の自分事化・理解促進・人材育成を目的に、宮崎大学と連携して、売り込みを実施。
（ターゲットを流域内の中学校・教育委員会に絞ったうえで、「流域治水」に関する講座を開催し、考えてもらうきっかけ作りを実施）
○ 年間を通じた探究学習（総合学習）の個人テーマとして、「流域治水」を選択してもらうことで、その親世代も考えるきっかけに繋げたい。
（探究の成果を発表する場として、「流域治水協議会（生徒編）」を開催予定）
○ 講座だけでなく、楽しみながら流域治水を学ぶ「流域ツアー」も実施。
（上流と下流の中学生及び教員が参加。上流・下流の現地を見る事で、流域治水の理解を深めることができた。

【取り組みロードマップ】

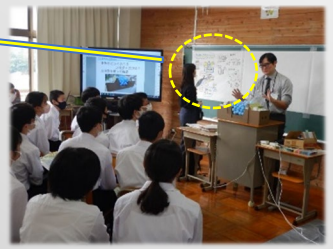


【出前授業の模様】
これまで流域内の4校（約180名）で実施

「流域治水」について感じた事を発表



より理解してもらえるよう、講義と並行で「グラフィック議事録」を作成



【流域ツアーの模様】
これまで2回（流域内の3校、延べ22名参加）実施

・「下流」「上流」の風景や災害リスク（土砂・浸水）の違いを体験したり、道中は流域治水クイズなどを実施。
・ツアーの最後には感じた事を意見交換（学生間の交流）

・歴史（H17災害）や、現在（利水ダムの事前放流）の流域治水を学習。
・Eボート体験など、「楽しく学ぶ」メニューも加えた。